

製品と価格、機能性における新しい基準

クロダイインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

市場はその絶対的プレゼンスを有し、グローバル化とともに市場基準を提案するものである。これらは新しい製品と価格基準を企業に要求するものである。

製品と機能性、価格と市場参加は、その優れた現実において必ず需要を期待できるものである。優れた製品は必ず受け入れられ、低価格は需要を有するのである。

これらは時代基準における製品要求と製品コンセプトとアイディアは、生活要求に対してその機能性を提案しなくてはいけない。これらは技術における飛躍は、価格アドバンテージとともに市場アクセスを求め、製品販売の需要を固定化し求めることができる。

これらは生産におけるコスト効率性と生産性、これらはインダストリー4.0における飛躍を基盤とし、製品品質基準の新たな要求と、製品開発とデザインにおける市場優位性の確立において、グローバル市場への参加を要求されるのである。

これらにおいて GAFAM との対等な製品提供を構築することは自己基準の転換において実現できるのである。これらはグローバル基準であり、企業の製品基準を転換し市場参加を再度実現することは可能なのである。

これらは企業経営基準における、現実の転換は、優れた企業活動を可能とできるのである。

優れた製品はその完成度を最大限要求されることは、製品化と開発における社内努力を大きく求められ、生産における考察は、価格アドバンテージを提供できる。これら価格と機能英における製品は、必ず市場において需要を有することが出来るのである。

これらは、機能性と価格に限定して市場参加を再度考査する時、市場における固定需要とともに、マーケティングと製品販売における新しい企業基準を有することが出来るのである。

これらは新しい利益性とともに、企業経営への転換を模索できるのである。これらは市場と企業の健全性における高い利益率の構築であり、これらにおけるグローバル市場への参加を有することができるのである。

